

すみれ4月



進級、入園をしてもうすぐ1ヶ月がたとうとしています。新しい環境の中、ドキドキしながら登園をした時の準備をしていた子ども達。内履きズックも「ここにいれる?」と聞きながらズック入れに入れていました。初めての事ばかりで戸惑っていた子ども達も、毎日同じことを繰り返す中で少しずつ身についてきているように思います。一つできることが増える、「できたよ!」と自信あり気に笑顔を見せる子どもたちが頼もしく、嬉しく思います。これから子どもたちが安心して自信を持って過ごしていけるように寄り添っていきたいと思います。気になることがあれば、いつでもなんでも聞いてください。保護者の方と一緒に子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。よろしく願っています。



こんなこと、楽しんでいます♪

☆1 組「ぐらがきた!」☆

赤い小さな三角帽子の落とし物を見つけて「ぐらがきたんじゃない?」とたんぼ組の時から大好きなぐらの存在を発見した子ども達。そんな時、ぐらから「帽子を知らない?」と手紙が届き、「見つけたよ」と子ども達からもお返事を書きました。すると、お礼の手紙と一緒にサンドイッチの材料が届きました。「なんかあるよ!」「これと一緒にや!」と『ぐりとぐらとくるりくら』に出てくるサンドイッチと見比べていました。



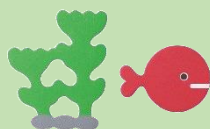
早速サンドイッチを作ってお皿にのせてぐりとぐらのように友達と一緒に食べて楽しんでいました。



これまでの経験からの子ども達の発想に、おもしろさや驚きを感じました。絵本からの遊びを通して子どもたちの遊びをより豊かなものにしていきたいと思います。くるりくらもきてくれるかも!?

☆2 組「きんぎょがにげてきた!」☆

絵本『きんぎょがにげた』を毎日楽しんでいると、ある日本当にきんぎょがにげてきました。びっくりしながらも、嬉しそうにきんぎょと触れ合っていました。毎朝「きんぎょはどこだ?」「どこににげた?」とワクワクしながら保育室に入ってきて、「こんなところにおった!」と見つけた時の嬉しそうな子どもたちの姿が、絵本の世界を楽しんでいることがとても伝わり嬉しく思いました。



進級し、新しい生活に不安がある中で、きんぎょの存在は子どもたちにとって安心を与えてくれる存在だったように感じました。そして、絵本の世界と現実が繋がった時、子どもたちはファンタジーの世界から力をもらい、現実で頑張る力に変えることが出来るのだと実感しました。これからも色々な絵本を楽しみ、絵本の世界と遊びの繋がりを大切にしていきたいと思います。



◎お部屋にこいのぼりが泳いでいます。◎

園庭にこいのぼりがあがり、「あれみて!」と興味津々の子ども達。「黒と赤と…」「大きいのと、小さいのと…」と色や大きさにも気が付いて話をしていました。そこで、子ども達もマンダラ塗り絵で模様を作って大きなこいのぼりを作りました。今日も元気に泳いでいます。



◎自分の事は自分でするよ◎



新しい生活にも慣れてきた子ども達。自分のことは自分でという気持ちを持って欲しい事、「自分でできた!」という自信につなげて欲しい事を願い、まずは自分のかばんは自分で持ってお部屋まで来て欲しい事を子どもたちにお話しました。お家の方も背中をおしていただけるようにご協力をお願いいたします。